

医療英語

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・友松郁子

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：4

■ 授業概要

英語 I、II で修得した英語学力を基礎に、病院等の看護提供場面で遭遇する簡単な会話コミュニケーションの演習や英語で記述された短い学術論文を読解するなど、医療英語に多く触れることを通して、研究や臨床で実践的に活かせる英語学力を修得するよう教授する。

■ 到達目標

英語 I、II で修得した看護英語の基礎をもとに、医療現場で使える実践力を強化する。

■ 教育内容

科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解

■ キーワード

外国人患者とのコミュニケーション

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	イントロダクション 会話・リーディング 1	・授業の進め方、テキスト、評価方法についての説明 Unit 1 空飛ぶ眼科：ボランティア医療職員の活躍	友松
2	会話・リーディング 2	Unit 2 ナノテクでお手軽に浄水	友松
3	会話・リーディング 3	Unit 3 瞑想やヨガで慢性的な腰痛を治そう	友松
4	会話・リーディング 4	Unit 4 歯医者にも何回も行く必要がなくなる新技術とは	友松
5	会話・リーディング 5	Unit 5 インフルエンザの脅威とワクチン接種の重要性	友松
6	会話・リーディング 6	Unit 6 糖尿病の診断は血液ではなく息で検査	友松
7	会話・リーディング 7	Unit 7 虫歯はもう削らないで治療	友松
8	会話・リーディング 8	Unit 8 心臓にはパッチを貼って治療	友松
9	会話・リーディング 9	Unit 9 100 万人を救える最新技術：敗血症治療の最前線	友松
10	会話・リーディング 10	Unit 10 50 以上の乳がん治療薬からどれを選ぶべき？	友松
11	会話・リーディング 11	Unit 11 脳がんを治療する新技術	友松
12	会話・リーディング 12	Unit 12 抗生物質を多用した弊害 1	友松
13	会話・リーディング 13	Unit 13 抗生物質を多用した弊害 2	友松
14	会話・リーディング 14	Unit 14 人は死ぬ時を自分の意思で選べるか 1	友松
15	会話・リーディング 15	Unit 15 人は死ぬ時を自分の意思で選べるか 2	友松

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

期末試験(50%)、課題レポート及びミニテスト(50%)

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

必要に応じて学務課を通して行う。

■ 教科書

- ・眞砂薫、田中博晃、Bill Benfield 著 (2019) 『Medical Front Line : VOA で深める医療の世界』
成美堂

■ 参考書・参考資料等

授業時に適宜指示する。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前・事後学修として計45分程度必要とする。授業前後の学修内容は授業にて指示する。

■ 担当教員からのメッセージ

実際の医療現場で起こりうる状況を想定し、実践的なトレーニングを行います。患者さんとの対話で「このような場合、どのように伝えればよいのだろうか?」と感じる場面は、テキストだけでは十分に対応できないことがあります。そのような疑問を授業の中で一つひとつ解決していきます。さらに、こうした場面に対応するために役立つAIツールやアプリの活用方法についても練習します。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

問い合わせの際は学務課を通してください。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

英国での医療通訳

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

海外の病院等における医療通訳としての経験を活かした授業・演習内容を設定しています。